

セコムのセキュリティサービスの特長

セコムの主力サービスであるオンライン・セキュリティシステムは、ご契約先にセンサーなどのセキュリティ機器を設置し、通信回線でお客様とセコムをつなぎ、24時間365日セコムのコントロールセンターで管制員が監視します。侵入・火災などの異常信号を受信すると、管制員の指示で最寄りの緊急発進拠点から緊急対処員が駆けつけ、必要に応じて警察や消防に通報します。

セコムのオンライン・セキュリティシステムの強みは、研究開発から機器の製造、販売、セキュリティプランニング、設置工事、



セコム・コントロールセンター

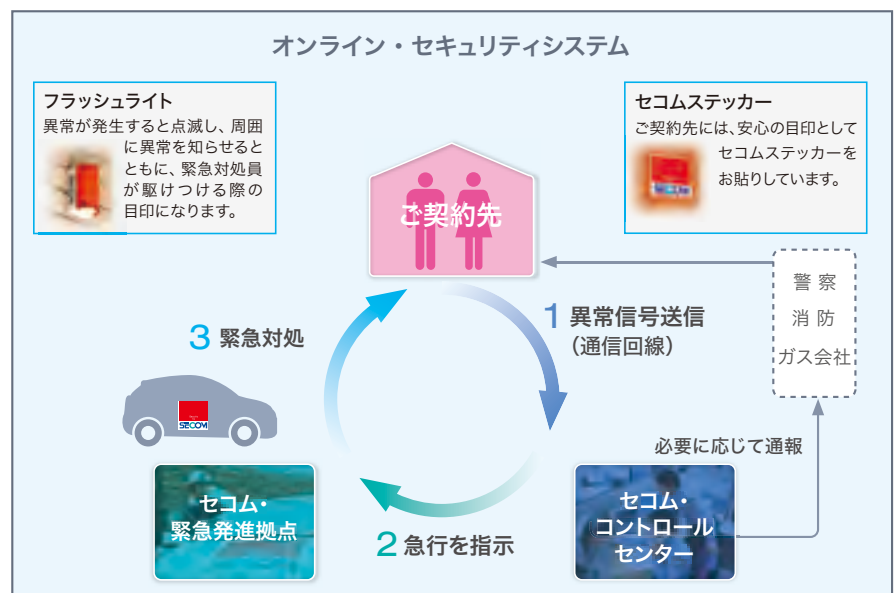
24時間監視、緊急対処、メンテナンスまでを、一貫して提供する体制にあります。このすべてにセコムが責任を持つことで、信頼性のある高品質なセキュリティサービスの提供を実現しています。

セコムのオンライン・セキュリティシステムは、「技術力」「人財」「オペレーション・コントロール体制」の経営基盤から成り立っています。「技術力」では、セコムIS研究所が基礎技術の研究に取り組み、セコム開発センターがその基礎技術を活用して新たなセキュリティシステムを開発しています。セコムは、オンライン・セキュリティシステムを一貫して提供する体制により、お客様のご意見やご要望を迅速かつ的確に反映させたシステムを、開発・改善することができます。

「人財」では、全国4カ所にある研修センターで、緊急対処員、営業員、管理担当者などが、知識やスキルとともに「セコムの理念」や安全のプロフェッショナルとしての行動規範を徹底的に習得することで、強靱な組織を生み出し、高品質なサービス提供を実現しています。

「オペレーション・コントロール体制」では、セコムが長年培ったノウハウと豊富な経験による管制員の素早い判断力に加えて、業界最多の全国約2,800カ所に緊急発進拠点があることで、迅速な緊急対処が可能です。

また、セキュリティ機器は主として当社が保有し、お客様にはレンタルでご利用いただくので、お客様は初期の導入費用を抑えることができます。さらに、セコムがセキュリティ機器を厳格に維持・管理しているので、お客様に品質の高いセキュリティサービスを、安定して提供することができます。



主な取り組み

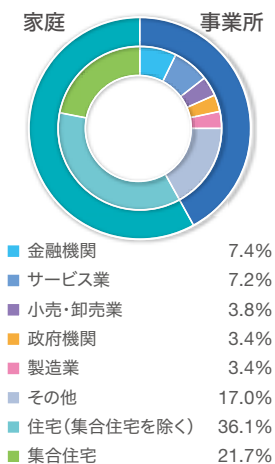
■事業所向けセキュリティサービス

セコムは、企業のさまざまなセキュリティニーズに積極的に応えるため、豊富なオンライン・セキュリティシステムのラインアップを用意しています。当期も引き続き付加価値の高いシステムを中心に、オンライン・セキュリティシステムの販売が堅調に推移しました。また、常駐警備や現金護送のニーズも、引き続き高い水準で推移しました。

オンライン画像監視システム「セコムAX」は、ご契約先に設置した画像センサーが、高度な画像認識技術によって暗闇でも侵入者を検知し、異常信号とともに画像と音声をセコムのコントロールセンターに送信します。管制員は、画像で現場の状況を素早く把握して緊急対応員に迅速・的確に指示し、ご契約先に設置したスピーカーで侵入者に警告ができるので、犯罪の抑止にも効果があります。

オンライン・セキュリティシステムの契約先区分

(2018年3月31日現在)



防犯・火災監視機能と出入管理機能を一体化したオンライン・セキュリティシステム「セコムLX」は、社員証などのICカードがセキュリティシステムの操作にも使え、その出入データを勤怠情報として用いることで、ご契約先は労務管理のコスト削減が可能になります。

「セコムFX」は、無人店舗や小規模オフィス向けに、防犯・火災監視機能と設備制御機能を一体化したオンライン・セキュリティシステムです。お客様が設定したスケジュールに基づいて、照明、空調、看板灯、防犯カメラなどを自動制御することで、電力使用量の抑制や光熱費の削減が可能となり、設備の省エネや省力化に貢献します。

セコムは、今後も企業の多種多様なニーズに的確に応えるオンライン・セキュリティシステムを開発、提供していきます。



「セコムLX」

■大規模イベント向けセキュリティサービス

セコムは大規模イベントなどの「安全・安心」な運営を支援するため、広い空間を地上と上空から立体的に見守る「立体セキュリティ」を展開しています。「立体セキュリティ」では、高精度な3次元地図を活用した「セコム3Dセキュリティプランニング」を使ったシミュレーションで想定されるリスクを把握し、最適な警備計画を立案します。そして、地上の防犯カメラや警備員が着用したウェアラブルカメラ、上空の「セコム飛行船」「セコム気球」からの画像を活用して、警備の対象となるイベントの状況をリアルタイムで正確に把握します。

これらの映像などの情報を表示するモニターを搭載した車両型の移動式モニタリング拠点「オンサイトセンター」は、車両型ならではの機動性を生かして、リアルタイムな情報収集や状況確認を行い、迅速な現場指揮支援を可能にします。さらに、セコムはAI技術を活用した画像認識システムで、不審な状況や混雑状況などを分析し、現場の警備員などと連携しながら、大規模イベントの「安全・安心」な運営を支援しています。

今後も、セコムはスポーツイベントや国際会議などの安全な運営に貢献するために、独自の先端技術を駆使したセキュリティシステムの開発、活用に努めていきます。



「オンサイトセンター」

■家庭向けセキュリティサービス

2017年7月に家庭向けの主力セキュリティシステムとして販売を開始した「セコム・ホームセキュリティ NEO」は、外出先からスマートフォンでセット・解除などができるほか、家族の外出や帰宅をスマートフォンのプッシュ通知でお知らせするなどの利便性が好評で、着実に普及が進んでいます。「セコム・ホームセキュリティ NEO」は、基本サービスである防犯・火災監視・非常通報と、オプションサービスの救急通報・ガス漏れ監視・安否見守りなどに加えて、IoT機器などと接続することで新しいサービスを利用できます。

その一つ、リストバンド型のウェアラブル端末を使った健康管理・救急通報サービス「セコム・マイドクターウォッチ」は、「セコム・ホームセキュリティ」のオプションサービスとして、自宅内外を問わず身体の動きを一定時間検出できない時や、突然意識を失うなどして転倒した時に、セコムへ自動で救急通報します。さらに、健康管理の機能を利用して、「歩行」「睡眠」「食事」の状態をチェックし、生活全般の改善アドバイスを、スマートフォンで受けることができます。

また、近年日本ではインターネットによる通信販売などの利用拡大に伴い、宅配便の取扱個数や不在時の再配達が増加が社会課題となり、宅配ボックスの需要が



「セコム・ホームセキュリティ NEO」

高まっています。セコムが新たに発売した「セコムあんしん宅配ボックス」は、「セコム・ホームセキュリティ NEO」に接続することでこじ開けを監視して、異常時には緊急対処員が駆けつけます。

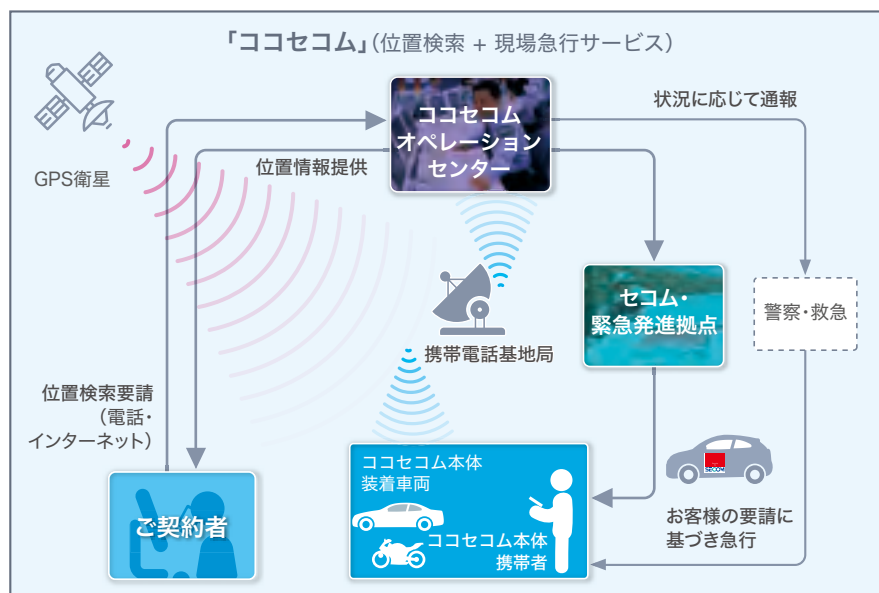
■その他のセキュリティサービス

屋外用位置情報提供システム「ココセコム」は、お客様のご要望に応じてサービスの利用対象を広げています。「ココセコム」は、GPS衛星と携帯電話基地局の電波を利用して、専用端末を持っている人や装着されている物の位置を、高い精度で特定できます。専用端末の位置を知りたい場合は、専用のホームページで検索でき、ココセコムオペレーションセンターに電話をして、位置検索を依頼することもできます。お客様から要請があれば、オペレーターは緊急対処員を急行させ、必要に応じて警察や消防に通報します。「ココセコム」の特長はこれらを1つのシステムとして提供できるところにあります。

「ココセコム」は、個人向けの持ち歩くセキュリティとして、子どもの連れ去り防止や高齢者の徘徊対策、自動車やオートバイなどの盗難対策として始まりました。その後、お客様のご要望に応じて、タクシーやバスの運行管理、建設機械やATMの盗難対策、従業員の安全管理など、利用対象が拡大しています。

■海外でのセキュリティサービス

セコムは、1978年に初めて台湾へ進出し、現在12の国と地域でセキュリティサービスを展開しています。海外でのセキュリティサービスの特長は、「セコム方式」の緊急対処サービス付オンライン・セキュリティシステムを、進出先の国や地域に合わせて、カスタマイズしているところにあります。この「セコム方式」は、海外のお客様からも高く評価され、普及が拡大しています。



中国では、沿岸部から内陸部までの25都市にセキュリティサービスネットワークを構築し、事業所向けなどのセキュリティシステムの普及が堅調に推移しています。中国の大手総合家電メーカーとホームセキュリティ市場開拓でパートナーシップを締結し、さらなる拡販をめざしています。

台湾と韓国では、各証券取引所に中興保安股份有限公司と(株)エスワンがそれぞれ株式を上場し、幅広いセキュリティサービスを提供することで、事業が拡大しているほか、経済発展が続く東南アジアでもタイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、ベトナム、ミャンマーで「セコム方式」のセキュリティシステムを提供し、着実に普及が進んでいます。オーストラリアとニュージーランドでは、大手金融機関などへセキュリティサービスを提供し、お客様から厚い信頼を得ています。

イギリスでは、セコムPLCが英国全土にセキュリティサービスを提供しています。セコムPLCは、同国で開催された「セキュリティ・アンド・ファイア・エクセレンス・アワード2017」で、「最優秀監視カメラシ

ステム賞(CCTVシステム・オブ・ザ・イヤー)」を受賞するなど、高品質なサービスの提供で高い評価を得ています。

セコムは、「安全・安心・快適・便利」へのニーズは世界共通であると考えており、今後も進出先での普及に邁進し、未進出国においても参入の機会を検討していきます。

■新たなサービス

● 独自のロボット技術で「セコムロボットX2」「セコムロボットX3」を開発

セコムは、警備員の代わりにご契約先の敷地内を自動で巡回し、不審者の発見や威嚇を行う日本初の屋外巡回監視用「セコムロボットX」を、2005年から提供しています。このロボットを進化させて新たに開発した「セコムロボットX2」は、屋内外での自律走行が可能で、赤外線センサー、熱画像センサー、金属探知機を搭載したアームを使って、不審な放置物やゴミ箱の中などを点検できます。また、人混みの中でも安全に走行できる「セコムロボットX3」は、警備、道案内、会話などの多彩な

機能を備えており、実用化に向けて開発を進めています。

● 「セコムドローン」による「巡回監視サービス」の運用を開始

セコムは、大規模施設でのセキュリティの高度化、効率化を目的に、「セコムドローン」を使った「巡回監視サービス」を、PFI(Private Finance Initiative)刑務所「美祢社会復帰促進センター」で開始しました。このドローンは、事前に設定した経路で敷地内を自律飛行し、撮影した画像は警備室の監視卓でリアルタイムに確認できます。上空から監視することで死角が少なくなり、屋上などの危険な箇所の監視も容易になり、警備員の負担軽減にもつながります。撮影した画像は、保存することができ、過去の映像を確認したり、記録・証拠として残すことで、セキュリティレベルの向上を図ることができます。今後は、このサービスを郊外型店舗や工場、スーパーマーケットなどの大規模施設に提案していきます。



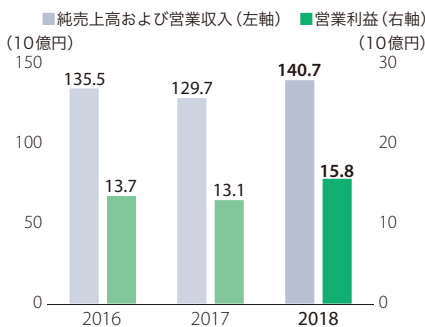
「セキュリティ・アンド・ファイア・エクセレンス・アワード2017」表彰式



「セコムロボットX2」



「セコムドローン」による「巡回監視サービス」



主な取り組み

防災業界では、労務費や原材料価格の動向が懸念されるものの、民間設備投資の持ち直しの動きなどを背景に、市場は底堅く推移しました。一方で、建物・インフラの老朽化、都市や建物の進化など、社会の発展とともに火災の対象・現象も変化し、防災に対する新たな課題が顕在化しています。このような課題の解決に向けて、国内防災業界大手2社である能美防災とニッタンは、それぞれの営業基盤や商品開発力を生かし、積極的な営業活動を展開して、災害から生命・財産を守るための最新・最適な防災システムの受注拡大に努めました。

火災報知設備の分野では、新築市場で収益性を重視した営業活動を行う一方、自動火災報知設備の老朽化によって更新期が到来するリニューアル市場では、豊富な施工実績と長年培ってきたお客様との信頼関係を生かし、積極的な提案営業を強化しています。消火設備の分野では、大型案件の受注が堅調に推移しています。

■高速道路のトンネルに
防災設備を設置

能美防災は、阪神地区で新たに開通した高速道路のトンネルに、炎検知器や防災盤、消火設備などの防災設備を設置しました。長年、数多くのトンネル防災を手掛けてきた能美防災は、トンネル防災の企画、施工、メンテナンスまで一貫して提供できる体制が整っており、その高い技術力やノウハウを生かし、トンネル防災の受注拡大を推進しています。

■研究開発体制の強化をめざして、
新たな研究棟を建設

能美防災は、最新の火災検出技術や消火技術の研究開発を行う研究棟を新設しました。「A研究棟」と名付けられた新施設は、先端技術の開発につながる温湿度管理や特殊な実験が可能な大規模実験場、ISO(国際標準化機構)規格の実験室などを備えています。お客様に実際の火災を想定した実験にお立会いいただき、防災設備の有効性を提案することができるため、受注促進にもつながっています。



能美防災(株)の新施設「A研究棟」内の実験場

■重要文化財の寺院に
総合防災システムを納入

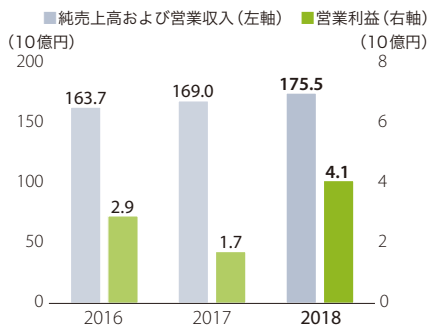
ニッタンは、国の重要文化財である寺院や、消防法の規定以上に高度な防災システムを望む工場・プラントなどに、特殊な防災システムを納入しています。特殊防災のニーズは高まっており、今後もニッタンは豊富な実績を生かして市場ニーズにお応えしていきます。

■海外市場が好調に推移

ニッタンは、イギリスの現地法人とベトナムの工場を拠点に、欧米のULやEN規格などに準拠した製品を、世界中の政府施設、銀行、高層ビル、ホテルなどに提供しています。当期は、イギリス市場と東南アジア市場での販売が好調に推移し、特にベトナムではUL規格の火災報知システム「SPERA」などを多数納入しました。営業面においては、イギリス、ベトナムに拠点を置き、さらなる拡販を図っています。



国の重要文化財である寺院に
総合防災システムを納入(ニッタン(株))



主な取り組み

日本では、医療、介護、健康サービスに対する意識が年々高まり、より高品質で、高度化、多様化したサービスが求められています。セコムは、健康や命を守ることが究極の「安全・安心」であると考え、市場ニーズに応えるべく訪問看護や薬剤提供などの在宅医療サービスを中心に、さまざまなメディカルサービスを提供しています。

在宅医療サービスには、院外処方箋の受付や在宅で療養中の患者様への薬剤・医療材料の提供に加えて、さまざまな相談にも応じる「薬剤提供サービス」や、全国35カ所の「セコム訪問看護ステーション」から利用者の自宅に伺って主治医の指示に基づいた医療処置などを行う「訪問看護サービス」があります。薬剤提供サービスは、当期も販売が好調に推移しました。

このほか、シニアレジデンスの運営、電子カルテの提供、医療機器などの販売、介護サービス、インドの総合病院の運営、国内提携病院の運営支援など、それぞれのサービス拡充を推進しました。

■看護師の特定行為に係る 指定研修機関に民間企業として 国内初の指定

セコム医療システムは、民間企業では国内初となる看護師の特定行為*に係る指定研修機関として、厚生労働大臣から指定を受けました。セコムは、これまで培ってきたノウハウや医療機関との連携を生かして、高度な臨床実践能力を発揮し、特定行為ができる看護師リーダーの育成とともに、看護師がより活躍できる環境を提供し、医療の質の向上に貢献していきます。

*特定行為…診療の補助であり、医師・歯科医師による指示が記載された手順書に基づく、脱水時の点滴や人工呼吸器の調整などの行為のこと。

■介護付有料老人ホーム 「アライブ代々木大山町」を開設

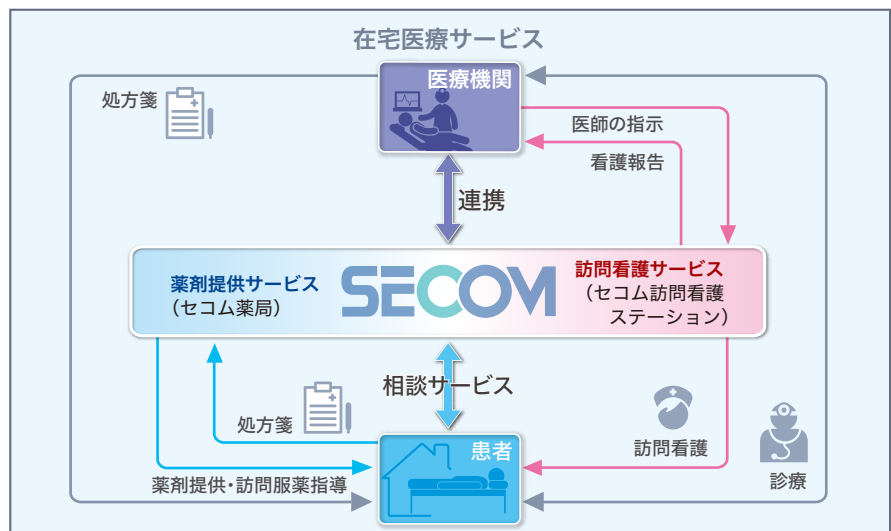
セコムの16カ所目の介護付有料老人ホームとして東京都渋谷区に開設した「アライブ代々木大山町」は、セコムのセキュリティや防災のノウハウに、高齢者医療・

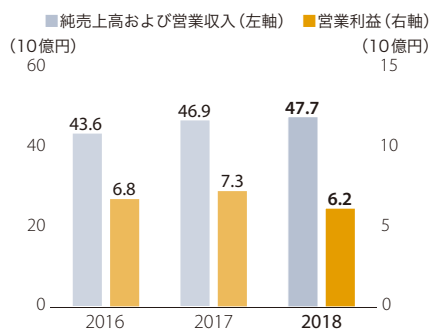
介護のノウハウを融合させて、「安全・安心」で充実した介護サービスを提供しています。

日本では、地域が一体となって支援する「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。セコムは、東京都渋谷区と「シブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー協定」を締結しており、「地域包括ケアシステム」の一助として、「アライブ代々木大山町」を拠点に高齢者の健康増進を積極的に支援しています。今後も、セコムは近隣大学および付属病院との交流や連携を通じて、地域の方々が安心して暮らせる街づくりに寄与していきます。



「アライブ代々木大山町」





主な取り組み

損害保険業界の市場環境は、社会構造の変化などを受けて、個人や企業の活動に生じる新たなリスクが増えており、変化するお客様のニーズにきめ細かく対応できる付加価値の高い保険が求められています。

セコムは、社会に安心を提供し、より良い社会生活の発展に寄与する独創的な保険の開発や、販売チャネルの開拓に努め、事業基盤の強化に尽力しました。



セコム損害保険(株)のコールセンター

■加入者の増加が続く

「自由診療保険メディコム」

「自由診療保険メディコム」は、自由診療・公的保険診療を問わず、がんの入院治療費を全額補償し、通院の治療費も5年ごとに1,000万円まで補償します。充実した補償内容で経済的な負担を気にせず治療に専念できることから、契約件数は増加を続けています。

■ホームセキュリティ割引やセキュリティ割引が特長の「火災保険」

家庭向けの「セコム安心マイホーム保険」の特長は、盗難や火災のリスクが少ないホームセキュリティのご契約先に対して、保険料を割引くところにあります。企業向けには、オンライン・セキュリティシステムを導入している企業に、リスク軽減分を保険料に反映させた「火災保険セキュリティ割引」を提供しています。これらの火災保険は、ホームセキュリティやオンライン・セキュリティシステムを導入する機会に、契約するお客様も増加しています。



セコム損害保険(株)本店ビル

■緊急対応員がサポートする

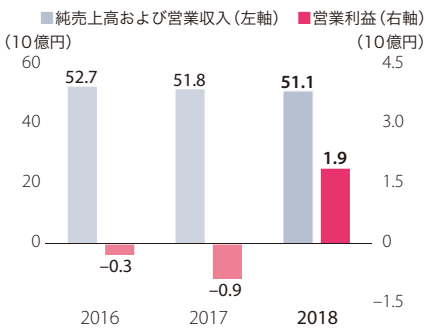
「セコム安心マイカー保険」

この保険は、自動車事故に遭われたお客様の要請があれば、24時間365日セコムの緊急対応員が駆けつける「現場急行サービス」が特長です。警察や救急への連絡、現場写真の撮影など、事故現場でのさまざまなサポートが、お客様から好評を得ています。



「セコム安心マイカー保険」の現場急行サービス

地理情報サービス事業



主な取り組み

少子高齢化、労働人口の減少、気象変化による自然災害リスクの増大など、事業環境は、多様化・高度化しています。パスコは、空間情報の可視化・分析・流通を軸に、継続型と業務請負型ビジネスを両輪とした事業展開をめざすとともに、AI/IoT、ロボティクス、ブロックチェーンなど、次世代ツールの導入によるサービスの自動化・高度化も図っています。

パスコの事業は、行政機関を顧客とする国内公共部門、民間企業を顧客とする国内民間部門、諸外国政府機関を主な顧客とする海外部門で構成され、本セグメントの純売上高および営業収入の約8割は、国内公共部門が占めています。行政機関への納品時期は主に3月末となるため、本セグメントの収益は期末に向けて集中する傾向にあります。

■ AI技術を活用した

「都市変化解析マップ」と「駐車車両推計マップ」の提供を開始

「都市変化解析マップ(土地被覆分類・土地被覆変化)」は、合成開口レーダーを活用した衛星画像にAI技術を用いて、都市の変化を自動的に抽出し、土地の表面が変化の様子をマップ上に生成します。「人工物」「裸地」「森林・樹木」など土地の状況は、面積の推定や時系列の変化から、都市化や森林減少の速度が推計可能で、開発途上国や新興国での需要が期待されます。

「駐車車両推計マップ」は、高分解能(光学衛星画像)*で撮影した駐車場の画像から、AI技術を用いて、車両台数を推計します。このサービスは、港湾のモータープールに駐車中の輸出入台数や大型商業施設の駐車台数を観測して、経済活動のモニタリングに利用したり、家屋などにも転用することで被災時の被害状況の迅速な把握も可能です。

*高分解能(光学衛星画像)・・・光学衛星の性能により、撮影成果の細密度が変わる。一般的に、数十cmクラスの解像度(分解能)を、高分解能と呼んでいる。

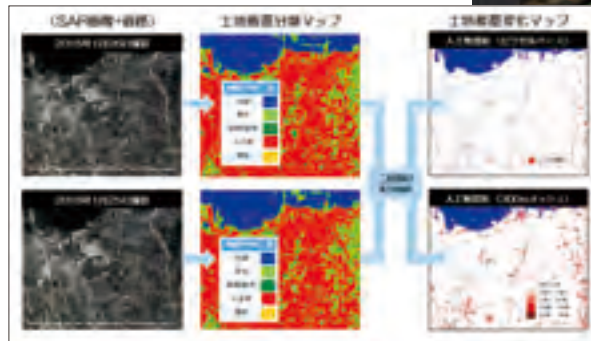
■ 「i-Construction」の実現に向けた3次元データサービスを提供

「i-Construction」は、ICTの活用で規格の標準化や工事の平準化を図り、労働力不足を抱える建設・土木工事現場の安全性や生産性向上を実現するために国土交通省が推進している取り組みです。工事現場では、事前調査・計画から設計・施工・検査までのプロセスを3次元データ化して、「i-Construction」に対応できるサービス提供者が求められています。

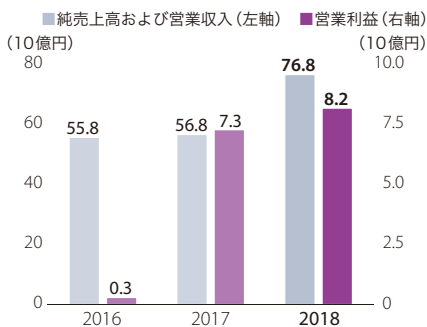
パスコは、宇宙・空域・地上・水域の視点から測量・計測する幅広い技術と高度なデータ処理技術で、工事環境や計測対象の特性を考慮した最適な手法を提案し、3次元データの有効性を最大限に引き出すコンサルティングも提供できます。「i-Construction」は、水底土砂の運搬処分、舗装、橋梁など対象領域・規模を広げており、パスコは正確な測量と工事の安全性確保を強みに、受注拡大をめざしています。



ドローンによる撮影成果の3次元統合



「都市変化解析マップ」



主な取り組み

大規模災害、テロ、サイバー犯罪など、生活基盤を脅かすリスクが複雑化し、社会はさまざまな不安にさらされています。セコムのオンライン・セキュリティシステムをICT分野で支えてきたノウハウを基に、データセンターを中核としたセコムならではのBCP支援、情報セキュリティ、クラウドサービスを拡販するとともに、BPO事業の拡充を図りました。



セコムのデータセンター

■ データセンター事業

堅牢な建物や安定的電源供給、信頼性の高いネットワーク、高品質なセキュリティを備えた国内最大級のデータセンター事業を展開しています。当期も、国内企業だけでなく、グローバル企業にも新たにデータセンターをご利用いただき、高い評価を得ています。

■ 大規模災害対策サービス

災害発生直後の初動対応や業務を再開するために、BCPを支援するさまざまなサービスを提供しています。「セコム安否確認サービス」は、地震・災害・インフラ障害などの発生時に、社員・家族の安否確認や事業所の被災確認といった初動を、速やかに把握できます。同サービスは、その有効性の高さから採用する企業が増加しており、国内有数の危機管理サービスとなっています。

■ 情報セキュリティサービス事業

災害、サイバー攻撃やシステム障害などに備えて、お客様の情報セキュリティの確保に必要な安全対策から監視、対応、正常化まで、切れ目のないサービスを提供し、お客様の情報やシステムを守っています。

■ クラウドサービス事業

24時間365日の監視体制を生かし、セキュリティと運用を連携させた高品質な「セコムあんしんマイナンバーサービス」を提供しています。また、勤怠管理の効率化を実現する「セコムあんしん勤怠管理サービス」や、交代制勤務のシフト表を自動作成する「e-革新すけじゅーる」、定期健康診断の管理業務を支援する「セコムあんしん健康診断管理サービス」なども、提供しています。

■ BPOサービス事業

金融機関や業界大手企業に、コンタクトセンター業務などの高品質なアウトソーシング業務を提供するTMJを、2017年10月、連結子会社にしました。今後は、TMJの経験やノウハウを活用することで、多様化を続ける市場ニーズに幅広く対応し、「安全・安心」なBPOサービスの開発・提供を推進していきます。

■ 新たなサービス

● 入出金伝票の電子保存を実現

入出金伝票などの国税関係書類の電子保存を模索していた地域金融機関に対して、電子署名・タイムスタンプ*の技術を提供することで電子保存を可能にし、お客様の業務効率化とコスト削減に寄与しました。今後も「文書電子化技術」を核にして、さまざまな企業の業務プロセスの改革や利用者の利便性を向上させていきます。

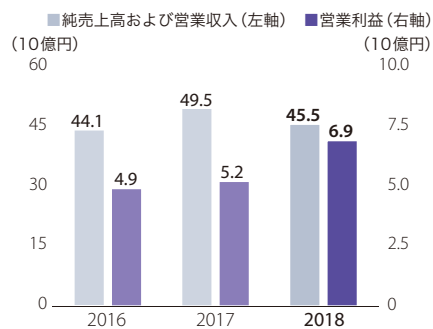
*タイムスタンプ・・・電子ファイルがいつの時点から存在していたか(存在証明)、またその時点以降に改ざんされていないことを証明(非改ざん証明)する技術のこと。

●「証券コンソーシアム」に参画

2018年1月、証券関連業界の横断的な基礎技術の研究と共通基盤の構築の推進を目的とした「証券コンソーシアム」が発足しました。セコムは、その「証券コンソーシアム」の参加企業として、生体認証や分散台帳技術などの先端技術を活用した本人認証プラットフォームを構築していきます。今後は、証券会社各社のWebサービスを利用する際に行うユーザー認証の利便性と安全性を高めるとともに、本人確認の関連業務を代行することも視野に入れています。

また、セコムは、国際基準認定電子認証局運営で培った安全な秘密鍵運用のノウハウを活用し、仮想通貨取引所と提携して、仮想通貨における世界最高水準の安全なウォレット*運用サービスの提供を開始しました。

*ウォレット・・・仮想通貨の取引に必須である電子鍵を管理する手法のこと。



主な取り組み

■不動産開発・販売事業

首都圏では、マンション開発に適した土地の価格高騰から、事業用地の仕入れは厳しい状況が続き、人手不足を背景に建設費も高止まりしています。このような事業環境のもと、セコムは高度なセキュリティと防災を強化した「安全・安心」で高品質なマンション「グローリオ」シリーズの開発・販売に加えて、限られた居住スペースで機能性や快適性を追求したセキュリティ・コンパクトマンション「グローリオコンフォート」シリーズの開発・販売、そして中古マンションの需要の拡大を捉えた



「グローリオ レジデンス町田中町」

リノベーションマンション事業を本格展開しています。

また、住居のお困りごとを相談できる「住まいの情報館」を、東京都や神奈川県、埼玉県、千葉県各エリアに開設し、お客様のライフステージを見据えた最適なアドバイスや提案を行うことで、お客様に寄り添ったサービスを提供しています。

■不動産賃貸事業

東京都心を中心に細部まで配慮が行き届いた運営管理によるビル賃貸事業を展開し、さまざまな業種・形態のお客様の事業展開を支援しています。当期は、保有不動産の入れ替えに伴う売却により、一時的に不動産賃貸収入が減少しています。

■建設設備工事

空調・給排水衛生・電気・消防など設備の新設・改修・増設から、設計・施工・保全まで、幅広く対応しています。

■ホームサービス事業

「セコム・ホームサービス」は、「セコム・ホームセキュリティ」のご契約先を対象にした生活支援サービスです。家事のお手伝い、不在時の見回りなど、幅広いサービスを提供し、お客様のニーズにきめ細かく対応しています。



「セコム・ホームサービス」